

様式 1

## 宮城県医師会・宮城県医師会女性医師支援センターイクボス大賞候補者推薦書

【 施設（団体） ・ 個人 】 該当を○で囲んでください

公益社団法人 宮城県医師会  
 会長 佐藤 和宏 殿  
 宮城県医師会女性医師支援センター  
 センター長 橋本 省 殿

推薦する医療施設名または推薦する個人の所属する施設名と推薦者

病院名又は個人名	生年月日 (個人の場合)	役 職 (個人の場合)	所属病院名 (個人の場合)
推薦理由	(100 字程度)		
推薦者 推薦病院	施設名  所在地  推薦者氏名  代表者職氏名 <span style="float: right;">印</span>		

## 「宮城県医師会・宮城県医師会女性医師支援センターイクボス大賞実施要項」

### 1. 趣旨

現在 40 歳未満の医師の 30%が女性医師であり、30 歳未満では 35%を占める。このように増加する女性医師が女性固有のライフイベントを理由に完全に離職することは、周囲の医師にとっても短期的かつ長期的に負担増となる。女性医師本人にとっても日々進歩する医学から取り残される焦燥感と子育ての重圧がある。このような中では、若手医師を育成する熱意と、仕事と育児を両立しやすい環境整備に努める上司（「イクボス」という）が不可欠である。

配慮のできる上司に恵まれた部署や病院には、若手医師が集まり、キャリア継続に良好な環境が築かれるため、その結果長く勤務する医師が多くなると推測される。

患者にとっても安心な医療の提供の場となり、病院収益も向上するという好循環を実現している事例も見聞する。

宮城県下からこうした事例を求め顕彰することで、県下の医療勤務環境の一層の向上に貢献できると考え、本賞を創設する。

### 2. 表彰候補者の推薦方法

#### 推薦方法

(1) 表彰候補者は、宮城県下病院の病院推薦と個人推薦の 2 種類とする。

- ・病院推薦は 1 施設とする。（推薦は病院勤務者から）（大賞とする）
- ・個人推薦者については、病院の在籍者（育休を取得された方などが好ましい）が推薦者となり、推薦候補者は 1 名とする。（特別賞とする）

(2) 推薦基準（別項参照）

(3) 推薦に要する書類

- ・イクボス大賞表彰候補者推薦書（様式 1）
- ・イクボス大賞表彰者略歴書（様式 2）（後日、最終表彰候補者に提出依頼）

### 3、表彰者の決定

候補者のうちから、宮城県女性医師支援会議において大賞1施設・特別賞1名を選出し、公益社団法人宮城県医師会理事会において協議決定する。

### 4、表彰の方法

宮城県医師会報に表彰者を掲載し、女性医師支援セミナー開催時顕彰する。

#### 別項「イクボス大賞表彰者推薦基準」

##### 1. 推薦基準（病院推薦・個人推薦とも）

(1) 表彰候補者は病院又は医師であって、次に掲げる（ア）から（エ）の要件をすべて満たすものとする。

（ア）研修医・専門医・専攻医・子育て支援を受けている若手医師に対し親身に相談に乗り適切なアドバイスをしている。

（イ）産休・育休明けの医師の正規雇用およびキャリア継続に貢献している。

（ウ）産休・育休明けの医師に対し単なる負担免除ではなく、周囲を取り巻く医師と協働して当直・時間外勤務等の分担可能なシステムの構築・運営に貢献している。

（エ）女性医師にとって働きやすい病院としての工夫、施策を積極的にとっている。